

2022年4月度ハイキング（ふるさと歩道「玉淀コース」）の報告 2022.4.2

2022年4月1日（金）、3ヶ月振りにハイキングを行うことができ、秩父線波久礼駅から寄居駅までのコース“ふるさと歩道「玉淀コース」”を歩いてきました。前日夜の雨もあがりましたが、予報では北からの風もあり、冬にもどったような気温でしたが、幸い予報より風も弱く、比較的暖かい一日を楽しんできました。

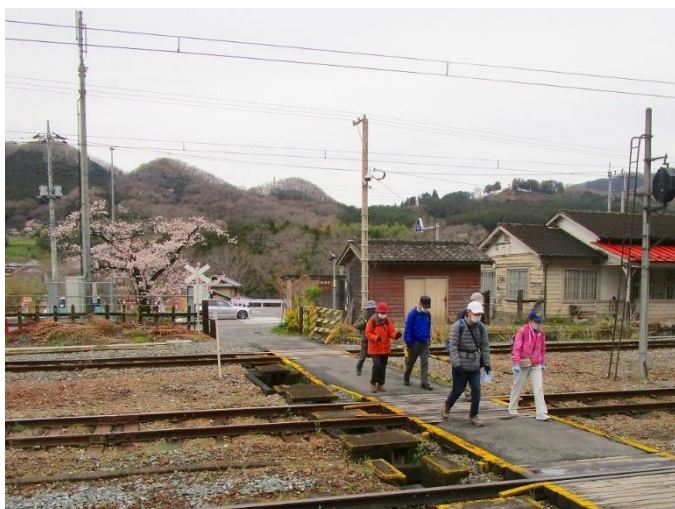
散策ルート（約9km）は以下マップの紫色線の通り。今回の参加者は9名でした。



9:10 波久礼駅改札前にて、コース予定など幹事より説明。出発前、駅前にて全員集合を待つ。



真冬の寒さの予報のため、皆さん冬支度で参加



9:15 波久礼駅踏切を渡り、少林寺へ向かう。



9:22

「西行戻り橋」

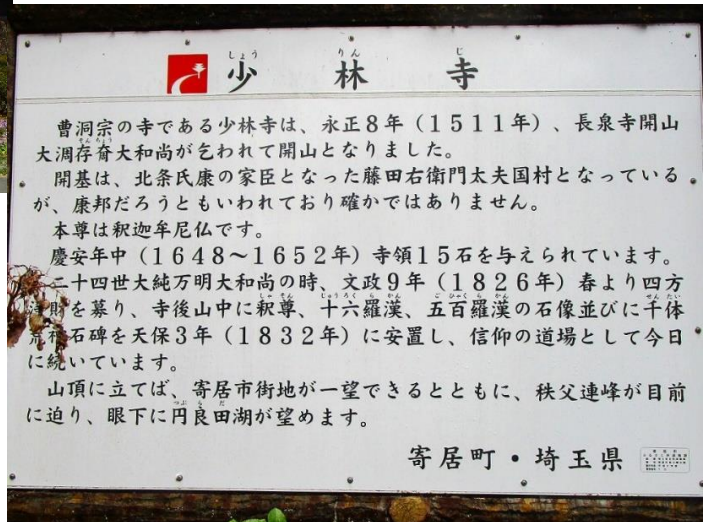
西行法師が秩父へ歌の修行に向かう途中、子供と話した時、子供の言葉が理解できず、禅問答のようになり、「秩父路の子供は難しい歌をたやすく詠む」と自分が恥ずかしいと、この地から引き返したとの由来からなる。



9:41 少林寺へ向かう



9:45 少林寺本堂



境内には和紙の原料になる「みつまた」の花もきれいに咲いていました。





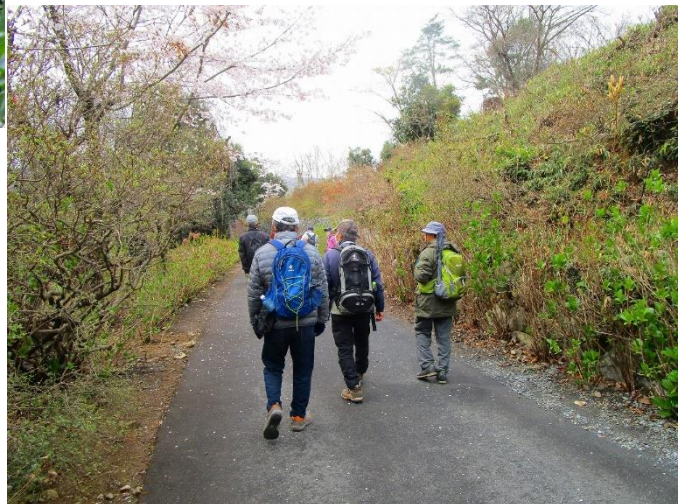
9:50 境内の横から「五百羅漢」がある山道に入り
羅漢像を見に向かう。



いろいろな表情、姿の羅漢様が山道脇に多数奉納
されています。



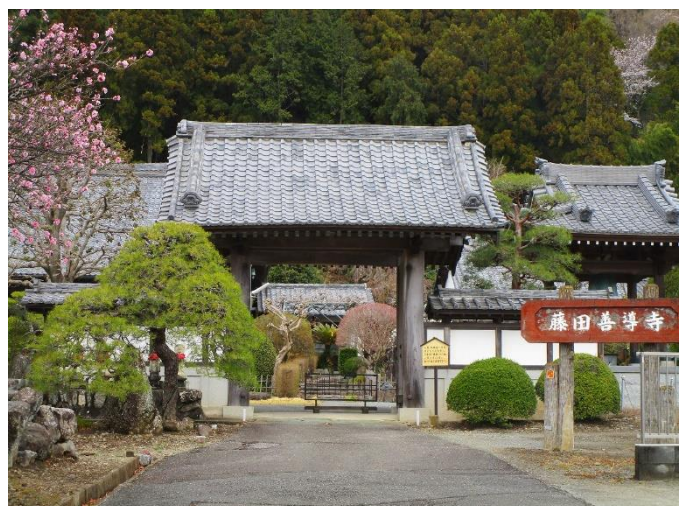
10:20 善導寺に向かう。
車の通りもなく静かな道で、風もなくゆっくり
とハイキングできました。



10:30 善導寺の駐車場には、桜が満開で我々を
迎えてくれました。



藤田善導寺は、百人一首画の格天井で有名で
寄居町の指定文化財となっています。
当日は本堂が締められており、ガラス戸越となり
あまりよく見られなかったのが、翌日個人で、
改めて参拝し、天井を写真に撮らせてもらい
ました。(次ページの写真)





横 12x縦 9 の計 108 の格子中に 100 首の画と歌が描かれています。

右は紫式部の格子



めぐり逢ひて 見しやそれとも わかぬ間に
雲がくれにし 夜半の月かな 紫式部



10:35 善導寺本堂



11:05 正龍寺に到着

山門の両側には 仁王像

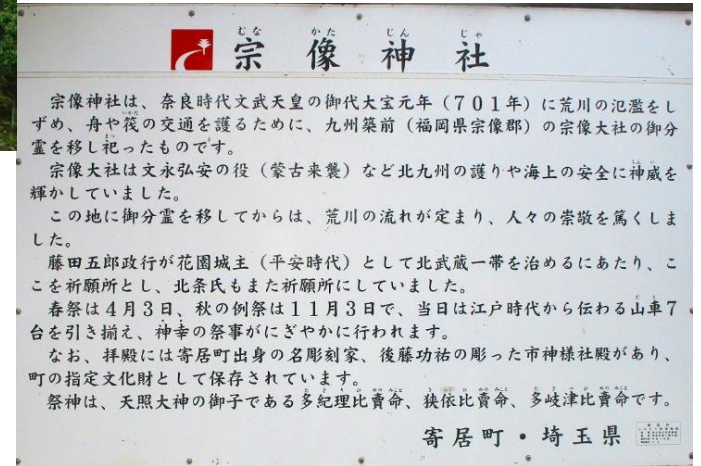




11:08 青空も見え始め、暖かさも感じるようになり
ました。
参道の説明看板を読む一行

11:35 宗像神社

奈良時代文武天皇の御代に、荒川の氾濫を鎮める
為、九州筑前の宗像大社の分霊を祀った神社。



宗像神社
のお社

「ふるさと
歩道」の各
所に道標
が建てられ
ていまし
た。



11:40 宗像神社の社殿横にて小休止



12:15 玉淀河原にて川・対岸の桜をみながら
約 50 分ゆっくり昼食





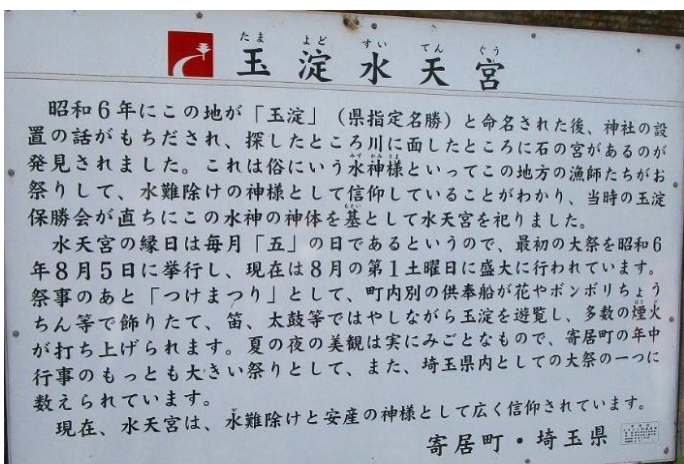
正喜橋の下流には桜が満開

13:25 雀宮公園:ここは七代目松本幸四郎の別邸跡を公園化した。



13:35 雀宮公園にて集合写真(後方の橋は正喜橋)

13:55 水天宮:昭和6年川に面したところにある石宮(地域の漁師の水神様)を水天宮として祀った。



14:00 河原の石宮を見に下りた SさんとTさん



14:05 水天宮から玉淀駅への道は桜並木。

14:20 玉淀駅(東武東上線)



14:35 寄居駅にて解散

二日前までの春の暖かい日とは変わって、冬に逆戻りした日でありましたが、予報より風も弱く、陽射しも出た一日、仲間の皆さんと久しぶりに、ハイキングを楽しむことができました。

6年ほど以前、今回のルートとは反対回りでこの地区のハイキングがありました。季節が秋だったこともあり、皆さんには初めての感覚だったようで、良かったです。久々に約9kmのハイキングでしたが、大きなトラブルもなく無事に完歩でき、桜も満開で、花見も楽しめたのかと思います。

参加の皆様、大変お疲れさまでした。

次回は、来年5月13日(金)「桶川の街散策」が美術工芸科の担当で開催されます。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

記:加藤 治朗